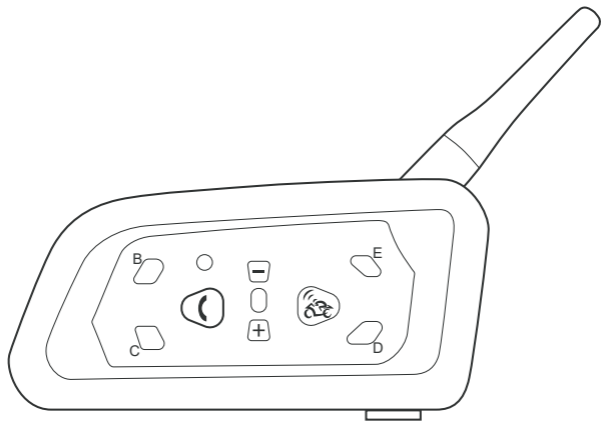


EJEAS[®]

MESHインターホン専門家



その他の言語



モデル

バージョン

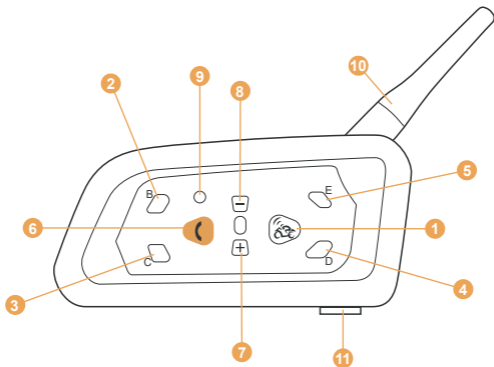
V6

Pro+ 6-ライダー

ユーザーマニュアル

オートバイヘル
メット対話システム

q www.ejeas.com



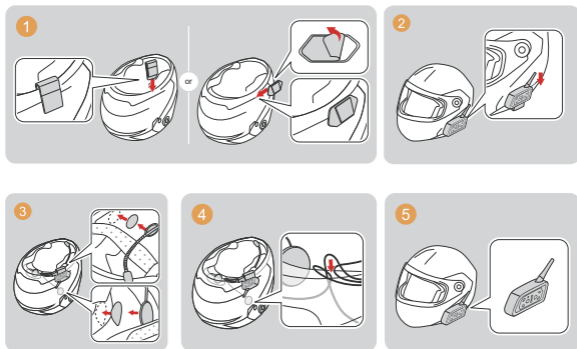
1. モーター/Aボタン (電源オン) 2. B ボタン 3. C ボタン
 4. D ボタン 5. E ボタン 6. 電話ボタン 7. ボリューム+
 8. ボリューム- 9. 電源オフ 10. アンテナ
 11. イヤホン・インターフェイス/USB充電器インターフェイス

製品機能

6はパフォーマンス可能なヘルメットのBluetooth距離が800メートルで、一般的には屋外環境での通話距離は300メートルから800メートルです。同時に、高性能Bluetoothイヤホン(10メートル範囲)。

は自動的に電話を受ける機能があり、使用がより便利で、より安全である。我々の生産技術と超音波構造を採用し、ねじを必要としない。防水機能、Hd音声も備えている。バイクライダー向けに設計されており、安全な走行を確保しています

インストールの概要



電話の操作

1.電源オン/オフ

電源投入：モーターボタンを長押しして約2秒後に放し、主装置のLEDが点滅した。電源を切る：押すと電源を切る

2.携帯電話との接続（GPS/MP 3.）

赤と青のライトが点滅するまで電話ボタン5 sを長押しします。携帯電話のBluetoothを開き、Bluetooth接続V 6を検索し、ペアリングに成功し、インターホンの青い光が点滅した。

(GPS/MP 3がBluetooth機能に対応している場合は、携帯電話と同じ動作)

3.最終再ダイヤル番号

電話を入れたら、電話ボタン3 sを長押しすると、最後の電話番号の電話が自動的にダイヤルされます

4.電話に出る

着信時には**5 s**の操作は不要で、携帯電話は自動的に受信する

5.コールの拒否

着信時に「電話」ボタンを押して通話を終了する

6.音楽の再生/一時停止

「携帯電話」ボタンを短く押す（携帯電話の音楽再生に**95%**対応）

7.おんりょうせいぎょ

音量を追加-音量で音量を下げる-体積で

8.音楽を選ぶ

前の音楽：音量を長押しする**2**次の音楽。音量を+**2**秒長く押す

9.じゅうでんぐい

充電中は常に赤信号が点灯し、満充電後は赤信号が消灯する

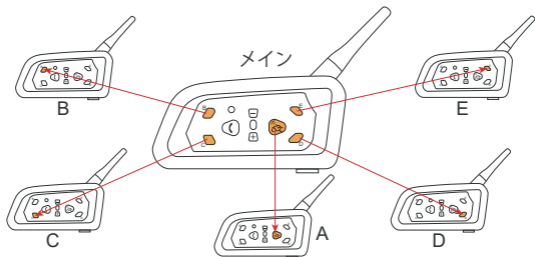
10.ペアリングの消去（出荷時設定の復元）

Phone（電話）ボタンと**B（B）**ボタンを同時に押すと、**LED**が赤と青の**3**回点滅する

インターホンの操作

V 6は6人のライダー使用デバイスをサポートし、2人のライダーが同時に1つのマスターデバイスと5つのサブデバイスを通話することができ、マスターデバイスはA/B/C/D/Eサブデバイスの中から1つを選択して通話することができる

注意：メインデバイスは他の5つのデバイスと同時に通話することはできません。通話するサブデバイスを選択します。A/B/C/D/Eの中からマスター機器モーター/B/C/D/Eボタンを選択して押し切り替え、二人の通話を実現する。他の5つのサブデバイスは相互に通信できません



1. Aデバイスとのペアリング

メインデバイスとAデバイスのモーターボタンを同時に約5秒間押しすと、両方のデバイスの赤と青のランプが点滅します。2人が相手を見つけると、そのうちの1人が自動的にペアリング接続を開始し、ブルーレイがすばやく点滅します。しばらくすると、青のLEDが同時にゆっくり点滅し、2つのデバイスが正常に通話できるようになり、次の子機とペアリングするには、まずモーターボタンを押して接続を切断してください

2. Bデバイスとのペアリング

メインデバイスとBデバイスのBボタンを約5回長押しすると、両方のデバイスの赤と青のランプが点滅します。2人が相手を見つけると、どちらかが自動的にペアリング接続を開始し、青のLEDがすばやく点滅します。しばらくすると、青い光が同時に点滅し、2台のデバイスが正常に通話できるようになりました。次のマシンとペアリングするには、まずBボタンを押して切断してください

(Cデバイス、Dデバイス、およびEデバイスは、対向するCボタン、Dボタン、およびEボタンをペアリングする同じペアリング方式を有する。

簡単に言えば、メインデバイス上のモーター/B/C/D/Eボタンは、他の5つのサブデバイス上のモーター/B/C/D-Eボタンとペアリングするために使用されます。ペアリング後、メインデバイスに対応するペアリングボタンを押すと、他の5つのサブデバイスと通話することができます

例えば、マスタ装置がAサブ装置と通話する必要がある場合、マスタ装置のモーターボタンを押すと接続して通話することができます。メインデバイスがサブデバイスBと通話する必要がある場合は、メインデバイスのBボタンを押して切り替えて通話します。C/D/Eは上記と同様の操作方式を有する

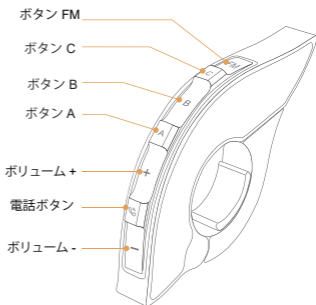
注意：次回使用時、再度ペアリングする必要はなく、メインデバイス上のモーター/B/C/D/Eボタンをクリックするだけで接続して通話することができます

使用上の注意

- 1.雨が降っている場合には、イヤホンジャックが完全に挿入された状態にあることを確認し、機器が水に落ちないように正しく取り付けてください
- 2.バッテリー寿命を確保するために、標準充電器を使用してください
- 3.走行の安全を確保するためには、走行中に音楽を聴くことはお勧めしません
- 4.走行状態では、手動でデバイスボタンを操作せず、安全に注意する
- 5.通信距離を確保するためには、オープンエリアでの使用をお勧めします

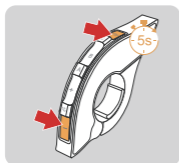
EUCリモートコントローラー（オプション） ボタン紹介

ボタン	行動	機能
ボリューム-	ショートプレス	ボリューム-
	長押し	前の曲はいつ 音楽が流れている
	ダブルクリック	なし
電話ボタン	ショートプレス	着信時に着信/ 着信、切断、音楽 再生/一時停止/前 回接続した電話に 接続電話が接続さ れていない場合
	長押し	コール再検査 最後の番号の再 ダイヤル
	ダブルクリック	音声アシスタント
ボリューム+	ショートプレス	ボリューム+
	長押し	次の歌はいつ 音楽が流れている
	ダブルクリック	なし
ボリュームA	ショートプレス	インカムAベアリング
	長押し	インターホン切る
	ダブルクリック	インカムDベアリング
ボリュームB	ショートプレス	インカムBベアリング
	長押し	インターホン切る
	ダブルクリック	インカムEベアリング



ボタン	行動	機能
ボタンC	ショートプレス	インカムCベアリング
	長押し	インターホン切る
	ダブルクリック	なし
ボリューム- + ボタンFM	スーパー 長い を押します	EUC処理賠償記 録の消去

EUCペアリング



① EUCのペアリングレコードを消去するために、<FMボタン>と<UC音量>5秒長押しします

●● 赤と青の光が同時に点灯



② <電話ボタン>と<ボタンE>を5秒間長押ししてハンドルペアリングモードに入り、赤と青の光が交互に急速に点滅する

●● 赤と青の光が同時に点灯



③ EUCのいずれかのボタンをクリック

ペアリング成功 ◀ "ペアリング成功"

(EUCが2分以内にペアリングに成功しない場合、自動的にペアリングモードを終了します)

モバイルアプリ



- ① 安全な走行携帯アプリを初めてダウンロードしてインストールする



アイオス



アンドロイド



- ② 赤と青のLEDが交互に点滅するまで（約5秒＜電話ボタン＞）を押し続けます

●● 赤と青のライトが交互に素早く点滅

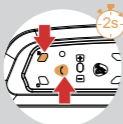


- ③ APPを開き、右上のBluetoothアイコンをクリックすると、インターフェースに検索されたインターホンデバイスの名前が表示されます。接続するインターホンを選択してクリックしてオペレーティングシステムに接続するには電話ペアリングを入力し、システム設定->Bluetooth、オーディオBluetoothを接続する必要があります

次回使用時にアプリケーションを開きます。右上のBluetoothアイコンをクリックし、ペアリングデバイスからインターホンを選択して接続します

APPは、インターホングループ、音楽制御、FM制御、スイッチオフ、チェック信憑性などの機能を提供します。

デフォルト設定に戻す



両方の<Bボタン>および<電話ボタン>を約2sのために押し続けて下さい、赤いライトは3早くペアリングの記録を削除するために点滅し、それからインテルコムは自動的に再度動力を与えます

- 3クイックフラッシュ
- ? "Di,Di,Di"

このデバイスには、革新的で科学的で経済的なカナダのライセンス免除RSSに準拠したライセンス免除送信機/受信機が含まれています。操作には次の2つの条件があります。

- (1) このデバイスは干渉を引き起こさない。
- (2) デバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性がある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければならない

本装置に含まれる無許可送信機/受信機は、無許可装置に適したカナダの革新、科学、経済発展省RSSに準拠しています。次の2つの条件で操作できます。

- (1) T この装置は干渉を発生させません。
- (2) 本装置は、受信した電波干渉を、たとえその干渉が本装置の動作を損なう可能性がある場合であっても、受け入れなければなりません。